

平成 29 年度 第 5 回第 2 次安曇野市文化振興計画策定委員会 会議概要

- 1 会議名 平成 29 年度 第 5 回第 2 次安曇野市文化振興計画策定委員会
- 2 日 時 平成 29 年 9 月 27 日 午前 10 時から正午まで
- 3 会 場 安曇野市役所本庁舎 3 階 会議室 306
- 4 出席者 笹本委員長、金井委員、片桐委員、古畑委員、鈴木委員、
- 5 担当課出席者 山田教育部長、那須野文化課長、三澤文化振興係長、財津博物館係長、
丸山文化振興係主事、堀文化振興係員、
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人 1 人 記者 人
- 8 会議概要作成年月日 平成 29 年 10 月 11 日

協 議 事 項 等

○会議の概要

- 1 開 会 (山田教育部長)
- 2 協 議
(1) 第 2 次安曇野市文化振興計画 (案) について
(2) その他
- 4 閉 会

○協議概要

(1) 施策の大綱について

- 資料内容説明 (事務局)
- 委員からの意見

委員長 ・ 第 1 章から順に確認していきたいと思う。全体を見直して、修正したい箇所などがあつたらご意見をいただきたい。

委 員 ・ 2 頁について、財政的に厳しい状況にあるということで、現状を指摘するのは良いが、今後どうしていくかが書かれていない。10 年に渡る計画なので、「現状をどう打開していくか検討する」といったような文言をいれたい。

委員長 ・ 財政状況は厳しいが、文化そのものは大切な物であり今後も発展させていかなければならないので、何らかのプラス表現を追加したい。

委 員 ・ 3 頁について、国の「文化芸術振興基本法」が改正により「文化芸術基本法」となったことで、“振興”という言葉が消えた。また、法律に明記されている地方公共団体の努力目標として、「地方文化芸術推進基本計画」の策定があるが、ここにも“振興”という言葉がない。今すぐ我々も計画名を修正しなければならないわけではないが、今後注目すべき点かと思う。

委員長 ・ 我々委員も含めそういった動きに着目し、意識していきたい。

・ 1 頁を見ると、和暦と西暦が混在しているので、和暦 (西暦) という書き方に統一してはどうか。

・ 「安曇野からは、江戸時代から今日までの 200 年の間～」とあるが、「現

在の安曇野地域からは、江戸時代から今日までの 200 年に限っても～」という書き方にしてはどうか。安曇野という概念は人によって印象に差があるので、少し直していただくと分かりやすいのではないかと。

・ 続いて第 2 章についてご意見いただきたい。

委員 ・ 7 頁の計画の位置づけの図について、当計画は個別具体的計画として位置付けられているが、図では他の計画の中核になるのか、他と横並びなのかが分かりにくい

事務局 ・ 第 2 次安曇野市総合計画の中に色々な計画があり、それぞれの計画と文化振興計画は連携を図るといった図になっている。もう少し表現を工夫したい。

委員長 ・ 最終的にパブリックコメントを経てもう 1 度確認する。その時までにはわかりやすい図にしてほしい。

事務局 ・ 印刷の関係で分かりにくいですが、安曇野市の教育（教育基本計画）とあるところに色がついていて、文化振興計画・図書館基本計画・生涯学習推進・スポーツ推進・人権教育・啓発推進計画が教育基本計画の中に包括されている。もう少しわかりやすく整理したい。

委員長 ・ 第 3 章について、写真はいいものがそろっている。計画書とウェブ上で紹介していきたい。質問、意見があればお願いしたい。

委員 ・ 14 頁、穂高神社のオフネ祭りの写真があるが、オフネの全体像がわかる写真はないか。

委員長 ・ 計画書はオフネ全体が写った写真に差し替えて、ウェブ版にオフネがぶつかり迫力のある写真を載せてはどうか。市民だけではなく、外部の人にも見てもらうという点で、安曇野市の特徴がわかる写真を載せてほしい。

委員 ・ 12 頁の穂高神社の写真は、神楽殿改修前の古いもので、季節も冬であまり見栄えがしない。もっと目をひくような写真に変えてはどうか。

・ 11 頁のそば畑の写真は、そばの花が分かりにくいので、白いそばの花が咲いている写真に差し替えてほしい。

委員 ・ オフネ祭りは色々な地域で開催されている。穂高神社のオフネ祭りの写真だけではなく、付属的に各地域のオフネ祭りの写真もつけてはどうか。

委員長 ・ 計画書に掲載できる写真には限りがあるので、ウェブ版を活用したい。

委員 ・ 18 頁、その他の候補に「若松や」の写真があるが、この様な写真が一つ入ってくれば良いと思う。

・ 人物の写真に女性がいない。少し男性に偏りすぎているような気がする。

・ ウェブ版を考えているということで、キャプションにリンクをつけてほしい。市民だけではなく市外の人も見るので、情報が入り込むようにしたい。

委員 ・ ウェブ版に動画を載せることはできるのか

事務局 ・ 調べたところ、他課の HP で動画の埋め込み等を行っているようである。

情報政策係等との調整が必要になるため、すぐに対応するのは難しいが、掲載は可能と思われる。

- 委員 ・ もしできるのであれば、オフネ祭りのお囃子の動画を載せていただきたい。
- 委員長 ・ 文化振興計画そのものが文化的でありたいという願いもあるので、可能であれば動画を載せていただきたい。
- 委員 ・ 現状の HP のシステムではできないことも多いので、できることをやっていただきたい。また、一回作って終わりではなく、更新・維持して欲しい。
- 委員 ・ オフネ祭りやお囃子のほかにも、方言寸劇の動画を掲載してはどうか。
- 委員 ・ 「若松や」は松沢求策の生家である。そういった情報も入れておく必要があると思う。
- 委員 ・ 女性の先人として、相馬黒光を取り上げてはどうか。
- 委員長 ・ 写真は文章の補足のためのものなので、あまり説明を入れない方が興味をひくのでよいのではないかな。
- 委員 ・ 風土の写真にはきれいな写真を多く使っているが、安曇野の特徴は冬の厳しさにあると思うので、それがわかる写真を入れてほしい。
- 委員 ・ 14 頁に「安曇野の個性であり～」とあるが、「安曇野を特徴づける～」としてほしい。
- 委員 ・ 16 頁の冒頭の文章に「また、有名でなくとも地域の発展に尽くした人材を多く輩出しました」と追加してはどうか。また、「学ぶ必要がありそうです。」の部分は「学ぶ必要があります。」とした方がよいのではないかな。
- 委員 ・ 18 項にその他の候補写真があるが、今まさに地域づくりの活動をしている写真があれば、候補に入れていただきたい。
- 委員 ・ 続いて、第 4 章についてご意見をいただきたい。
- 委員長 ・ 20 頁の文化的景観の保全のなかに、「不要な広告物が多い」という強い表現を入れてはどうか。次の動きにつながるのではないかな。
- 委員 ・ 例えば「取り組んでいます」を「より良い景観になるように引き続き努力していきます。」と変えるなど、現状を確認するだけでなく、こうありたいということを入れ込んで欲しい
- 委員 ・ 20 頁には「～取り組んでいます。」「～必要です。」という表現がある一方で、拾ヶ堰については「～施設遺産に指定されました。」と、現状が書かれているだけである。“現状と課題”という項目名との整合性をとった方がよいのではないかな。
- 委員 ・ 27 頁などを見ても、今後どうしていくのか書かれていない部分がある。全体的に見直してほしい。
- 委員長 ・ 現状の後に目標や課題を少しでも入れたら分かりやすくなると思う。
- 委員 ・ 21 頁では「景観づくり住民協定団体」が取り上げられているが、「屋敷林

- プロジェクト」等、ほかにも団体がある。別な表現があるのではないか。
- ・ 25 頁について、文化財資料センターの理念について「埋蔵文化財等の調査研究、整理、保管し～」とあるが、正しい文に直してほしい。
 - ・ 豊科近代美術館の理念について、末尾に「基幹美術館。」と突然出てくるので直してほしい
 - ・ 堀金公民館講堂については改装の年月日が入っているが、他の施設と同様に予定座席数を入れてほしい。
- 委員長
- ・ 団体については、すべては書ききれないので、団体名の後に「など」を入れるといった配慮をしてほしい。
- 委員
- ・ 20 頁について、拾ヶ堰は冬になると水が涸れゴミなどが目立つ。年に 1 回は地域の協力を得て清掃活動をするというような文言をいれてほしい。
- 委員長
- ・ 計画の中では個別の事業については書ききれない。計画の上では、先程のとおり「景観を維持し守るために努力します」と書き込んで対応としたい。
- 委員
- ・ 24 頁には子どもの入館料を無料としているとあるが、今後さらに対象を拡げられるように、課題やビジョンを書き込んで欲しい。
 - ・ 29 頁について、人材育成の施策例にアーティストインレジデンスが出てくるが、31 頁の多様な文化との交流にも該当するのではないか。多文化というと外国人が話題になりがちだが、市外のアーティストを迎えてもよいのではないか。
- 委員
- ・ 27 頁の普及・啓発活動の充実のところで、現状はあるが課題が書かれていない。例えば「区史の発行を支援する」ということを入れてはどうか。
- 委員長
- ・ 支援は金銭的なものだけではなく、研究の手助けなど広い意味がある。そんなことも踏まえて盛り込んで欲しい。
- 事務局
- ・ 文化財の説明板を設置している区については県の助成制度を利用している。市でも区史の編纂に対する補助制度があるので周知していきたい。
- 委員長
- ・ 個別具体的な事業や制度について計画には盛り込めないので、文化をつくるという広い枠組みで考えていきたい。
- 委員
- ・ 少し戻るが、10 頁のハクチョウの写真について、常念岳をバックにハクチョウの群れが飛んでいる写真があればよいと思う。
- 委員長
- ・ 26 頁に「～展覧会のコンサートなどの内容を充実する」とあるが、内容だけではなく、広報の充実など伝える側面が必要ではないか。
 - ・ 全体として防災の部分が抜けていると思う。先日、県の文化財の焼失があったこともあるので、27 頁に防災対策について一文入れてほしい。
- 委員
- ・ 27 頁の無形文化財の継承「取材と記録化を進めていく必要があります。」とあるが、その後の活用について書き加えてほしい。
- 委員長
- ・ 「これらを活用してより豊かな継承がされるように努力します。」など、

現状の後に一文を追加していただきたい。

- 委員 ・ 明科の日光・月光菩薩などは、防災・防犯面が不安である。緊急で取り組む必要があると思う。
- ・ 30 頁の安曇野文化財団について、どういう位置づけでどういう活動をしているのか、行政との関係を知りたい。
- 事務局 ・ 指定管理者として施設の管理・運営を行っている。現在、施設の運営に関する活動にとどまっている所があるため、今後の活動展開に期待したい。
- 委員長 ・ 読む人が分かりやすいように、注釈で今のような説明を入れてほしい。
- 委員 ・ 27 頁に「～天然記念物（巨木、山城、古墳、屋敷跡など）」とあるが、括弧書きの中に街道も入れられないか。
- 事務局 ・ 括弧書きの中は指定文化財を示しており、街道は指定されていない。
- 委員長 ・ 言葉だけ増えていくのはあまりよくない。「～等」としてまとめてほしい。
- ・ 次に、第 5 章についてご意見いただきたい。
- 委員 ・ 34 頁について、(2) に団体を支えますとあるが、だれが団体を支えるのか。行政か市民か、わかりやすく書いてほしい。
- 委員長 ・ 文化振興計画の主体はあくまで市だが、背景には市民がいる。団体を誰が支えるのかについてはわかりやすく書いてほしい。
- ・ ほかに、全体を通してご意見があればお願いしたい。
- 委員 ・ 写真について、年配の人向けのイベントが多い。若い人たちのほじけた写真がほしい。
- 委員長 ・ 若者の参加するイベントとしては「よさこい」等が挙げられると思う。
- 委員 ・ 15 頁の「やしょうま」の写真は古典的な柄のものでもよいかと思う。また、歳取りのご馳走があるが、鮭とブリの写真をいれてはどうか。
- 委員長 ・ 写真のページには安曇野らしいものを載せていきたい。
- 委員 ・ 18 頁、田植えの写真とのつながりで稲刈りやはぜがけの写真がほしい。
- ・ 10 頁で言えばりんごの収穫や摘果の写真もあってもいいと思う。
- ・ ウェブ版を有効に活用して欲しい。

●次回会議予定について

事務局・・・ 次回の会議は 1 月下旬を予定しておりますので、よろしくお願いたします。本日は長時間にわたりありがとうございました。

以上

会議概要は、原則として公開します。

※会議を非公開又は一部非公開とした場合は、その理由を記載してください。